

11 みんながよろこぶあいさつ（作文（小学生））

（ナレーター） 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、松岡はなが小学生の作文を朗読します。

ぼくは、だん地に住んでいます。だん地には、色々な家族や、一人ぐらしをしているおじいちゃんやおばあちゃんがい
ます。

朝、学校に行く時、下に住んでいるおじいちゃんに、

10 「おはようございます。」

と言うと、おじいちゃんも

「おう、おはよう。がんばれよ。」

と言ってくれて、ぼくは元気になります。

15 学校から帰って遊んでいる時、だん地に住んでいる一人ぐらしのおばあちゃんをみかけます。ぼくはそのおばあちゃん

に会うと、かならず

「おばあちゃん、こんにちは。」

とあいさつをします。すると、おばあちゃんはうれしそうにニコニコ笑いながら、

20 「新くん、こんにちは。」

と言ってくれます。おばあちゃんは、一人でくらしっていて、いつもさみしそうです。でもぼくがあいさつをすると、元気になるよとよろこんでくれます。

25 あいさつは、みんなを笑顔や元気にしてくれます。だから
ぼくは、自分からすすんであいさつをしていこうと思いまし
た。

30 ぼくには、三人の弟がいます。二年生の弟は、学校でよ
くあいさつ運動をがんばっています。ぼくも負けないように、
たくさんあいさつをしようと思います。ほいく園の弟二人の
お手本になるように、ぼくは学校の外でもたくさんの人たち
にあいさつをしていきます。そして、弟たちと一緒にあいさ
つ名人になりたいです。

35 (ナレーター) いかがでしたか。

40 あいさつは短い言葉だけど、お互いの心が触れ合う時間な
のですね。あいさつを交わし、元気をあげたり、もらったり。
あいさつには、そんな力があると、あらためて気付かせてく
れる作文でした。あいさつ名人が増えて、あちらこちらで元
気のリレーが繋がっていくといいですね。

(733文字)